

あとがき

昨年から今年にかけて複数の県が、知事部局や教育委員会などの公文書では「自殺」という用語の使用を原則としてやめ「自死」と言い換えるという方針を発表しました。世の流れは、「自殺」よりも「自死」が主流になるかと思いきや、最近は両者の比較や「自死」への言い換えのメリット・デメリットなどの論評も多く、使い分けも簡単とは言えません。

本号でも、どちらか1つではsuicide prevention and controlに関する最近の課題や対策の展望を広く紹介することができないと考え、「自殺・自死対策」という特集タイトルにしました。

本号で杉本脩子さんが紹介しているように、自殺の「殺」という文字は犯罪を連想させ、亡くなった人への偏見のほか、遺された人が感じる自責感や社会からの疎外感、偏見などを助長するなどの理由で、遺族支援の関連では「自死」を用いるのが一般的となりました。また、過労を背景とした自殺についても同様の理由で「過労自死」と表現されることが多くなりました。

その一方で、杉本さんが指摘しているように、多くの自殺は瞬間的な事象ではなく、様々な要因が重なるプロセスの中で起きており、その行為を表す時は「自殺」とせざるを得ないという声にも耳を傾ける必要があります。

自殺対策基本法の条文および自殺総合対策大綱の中の用語は、「自殺」で統一されておりますが、地域自殺対策緊急強化基金(2009年～)による各都道府県の対策においては、事業名に「自死」を含む対策も多くなったと思います。特集タイトルに2つの用語を併記した本号の内容が、各都道府県などにおける今後の対策の参考資料となれば幸いです。(阿彦忠之)

投稿論文オンライン受付 ID : koshu | パスワード : koshu
公衆衛生 URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/koshu/>

編集顧問

多田羅浩三 財団法人日本公衆衛生協会会長、大阪大学名誉教授

編集委員 (50音順)

阿彦 忠之 山形県健康福祉部次長・山形県衛生研究所長

高鳥毛敏雄 関西大学社会安全学部教授

成田 友代 世田谷区世田谷保健所長

西田 茂樹 福島県会津保健福祉事務所長

公衆衛生 (第78巻 第4号)

2014年4月15日発行(毎月1回15日発行)

定価：本体2,400円＋税

2014年年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子版…29,620円

電子版…〔個人〕29,620円〔共有〕34,100円

冊子＋電子版…〔個人〕34,620円

冊子＋電子版…〔共有〕39,100円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

本誌編集室直通

TEL (03)3817-5718 FAX (03)3815-7802

E-mail : koshu@igaku-shoin.co.jp

販売部直通：TEL (03)3817-5659 FAX (03)3815-7804

振替口座：00170-9-96693 番

印刷所：三美印刷(株) TEL (03)3803-3131

広告申込所：(株)メディカルブレーン TEL (03)3814-5980

デザイン：文京図案室 TEL (03)6801-9295

担当／藤田・能藤

●Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2014, Printed in Japan.

●許諾権

本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

●複製

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

●JCOPY 〈(社)出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●医学書院ホームページ

<http://www.igaku-shoin.co.jp>